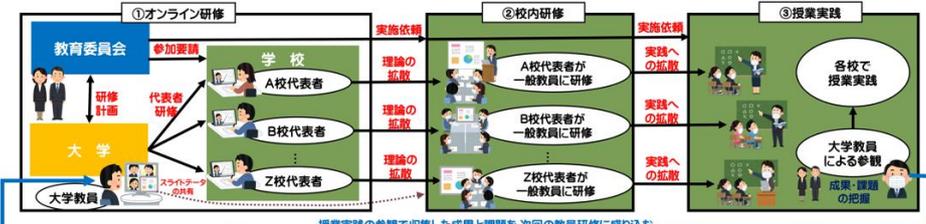


## 上越教育大学研究プロジェクト 終了報告書（一般研究）

研究代表者 所属・職名 学校教育学系・准教授

氏 名 榊原 範久

研究期間 令和2年度～令和3年度

研究プロジェクトの名称	Society5.0における教員の ICT 活用指導力を向上する拡散型教員研修の開発
研究プロジェクトの概要	<p>・研究プロジェクトの概要</p> <p>【研究の目的】</p> <p>本研究は、妙高市教育委員会と協働し、GIGA スクール構想に伴う ICT 環境整備に対応し、Society5.0 時代における教員の ICT 活用指導力の向上を目指す効率的な教員研修モデル（J-SOTT プログラム（Joetsu Spread online Teacher Training Program=上越教育大学 拡散型オンライン教員研修 プログラム）を開発・実践することを目的とする。</p> <p>【特色・意義】</p> <p>・従来の出張型の教員研修から脱却し、広域な地方を管轄する地域（過疎地域）を想定したオンラインシステムを活用した効率的・効果的な拡散型教員研修の実施</p> <p>・①情報主任向けオンライン ICT 研修会→②各校で情報主任による ICT 研修会（同一の内容）→③研修を受けた教員による ICT 研究授業公開をパッケージ化することで、オンライン講座の技能習得効果の低さの課題を解決する。（図1）</p>  <p>図1 J-SOTT プログラム（Joetsu Spread Online Teacher Training Program）の構想図</p> <p>①情報主任向け研修会では、妙高市教育長から市のGIGAスクール構想の推進に向けての目的と必要性について、教育委員会担当指導主事からは、市のGIGAスクール構想の推進計画の概要について講話を行った。その後、上越教育大学教職大学院の榊原准教授が「ICTを生かしたこれからの学校づくり」について講演し、ICTの現状や必要性、利活用のポイント、教員に求められるICT活用指導力について研修を行った。Zoomのブレイクアウト機能を活用して、小グループによる話し合いの場を設定することで、活発な意見交換が行われた。</p> <p>②教員向けICT研修会では、①の受講者が各校において伝達講習を行った。令和2年11月23日(月)～12月25(金)の期間に、市内小・中・特別支援学校で合計12回、教員約220人が参加した。①で利用したプレゼンターや動画を配布することで、実施者の負担軽減を図るとともに、メンターとしての自覚を促した。③まで上げた研修を次年度に計画している。</p>

<p>研究成果の概要</p> <p>※申請時にチェックした「取組課題」との関連とその成果も明記すること。</p>	<p>・成果の概要</p> <p>①情報主任向け研修会実施後のアンケート(14人回答)では、「校内のICT活用の推進に対する意欲を喚起された」「校内でICT活用を推進させる必要性がわかった」「他の参加者との意見交換や発表を聞き、ICT活用に関する新たな視点が得られた」の肯定的評価が100%であった。参加者からは、「この教育がなぜ求められているのか、その必要性がしっかり理解できました。またその可能性についても視野が広がる研修でした。実現の方向性も示され、具体的な一歩も踏み出せそうです」との感想があった。</p> <p>②教員向けICT研修会実施後の受講者アンケート(206人回答)では、「校内のICT活用の推進に対する意欲を喚起された」肯定的評価94.6%、「校内でICT活用を推進させる必要性がわかった」肯定的評価98.5%、「他の参加者との意見交換や発表を聞き、ICT活用に関する新たな視点が得られた」肯定的評価90.8%であった。受講者からは、「いつも(I)ちょっと(C)つかう(T)を頑張ります」「教員のICTの活用や知識の格差によって、未来の子どもたちにも大きな影響が出ることを知り、自身のICT活用技術の向上にさらに務めなければならないと思いました。また、そういった研修にも今後積極的に参加していきたいです」との感想があった。</p> <p>また、伝達講習を行った実施者アンケート(13人回答)では、「このような研修方法をまた実施したい」「研修会の実施は受講者に対して効果があった」の肯定的評価が100%であった。実施者からは、「不安は大きかったです、自身の理解は深まり、良かったと思いました。みなさんからも概ね良い感想をいただきました」「GIGAスクール構想について概要をつかめただけでなく、校内の方向性について考える機会となって良かったです」との感想があった。</p>
<p>研究成果の発表状況</p>	<p>○小林龍柱、榑原範久：オンラインシステムを部分活用した三位一体の拡散型教員研修プログラムの開発と評価～ICT活用をテーマとした教員研修の事例～、日本教育工学会論文誌、第45巻3号、pp.331-340、2021。</p> <p>○新井堅登・榑原範久・大前佑斗：小規模学級における相互閲覧を取り入れた遠隔協調学習に関する事例的研究、日本教育工学会論文誌、第45巻Suppl、pp.53-56、日本教育工学会、2021。</p> <p>○妙高市教育委員会「GIGAスクール構想の推進へ向けたICT教員研修」、講師、2020年11月12日・2021年12月8日。</p> <p>○令和2年度上越市小学校長会課題研修会「ICTを生かしたこれからの学校づくり」、講師、2020年11月5日。</p> <p>○令和2年度妙高市校長会研修会「ICTを生かしたこれからの学校づくり」、講師、2020年10月15日。</p>
<p>学校現場や授業への研究成果の還元について</p>	<p>本研究で開発した拡散型教員研修プログラム(J-SOTTプログラム)を妙高市内の約220名の教員に対して教員研修を2年間にわたり実施した。また、本研究で得た成果やICT活用の先進事例をまとめ、上越市小学校校長会や妙高市校長会で講演を行った。また、県内外の小中学校でICT活用に関連する教員研修を実施した。さらに研究成果をまとめた論文を日本教育工学会へ投稿し、2編採録されるなど研究成果を発表した。</p>